

情報 ひがし労

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

編集者 情宣部

**「平和・人権・環境・民主主義」を守り、統一地方
選挙に勝利し、横断的労働組合を創造しよう！**

第5回定期中央委員会



第5回定期中央委員会を開催！

JR東労働組合は2月5日、高崎市労使会館において「第5回定期中央委員会」を開催しました。戦後民主主義の破壊を許さず、「平和・人権・環境・民主主義」を守るために「すべての力を組織内候補予定者の必勝」に傾注し、統一地方選挙を闘い抜いていく。そして、産業・事業構造の大転換に抗して23春闘に勝利し、『変革2027』に立ち向かっていく。これらの取り組みを通じて、横断的労働組合の創造を推し進めていくことを満場一致で確認しました。

松下中央執行委員長から①統一地方選挙を通じて、「平和・環境・人権・民主主義」を勝ち取る闘い②新しい資本主義に基づく産業・事業構造の大転換に立ち向かう闘い③企業の安全配慮義務を欠いた業務執行体制に立ち向かう闘い④組織の強化・拡大を通じて、横断的労働組合を創造する闘いについて挨拶をしました。

また、今定期委員会では23春闘の要求項目①「ジョブ型雇用」導入反対②基本給一律12,000円（定期昇給を含まない）の引上げ③定期昇給（昇給係数4）の実施④エルダー組合員の基本賃金12,000円引上げ⑤第二基本給の廃止⑥正規・非正規や企業間格差是正を重視し、最低賃金時給1,150円、最低到達月収は30歳で24万3,750円、35歳で26万6,250円を目指す⑦『新しい資本主義』の加速』による、労働移動・リスキリング・日本型職務給の導入を通じた「構造的な賃上げ」に反対することについて執行部より提起し、満場一致で承認されました。

15名全委員から統一地方選挙勝利に向けた闘い、総合労働条件向上、安全配慮義務を欠いた企業体制に抗する闘い、横断的労働組合の創造に向けた闘いなど職場からの実践をもとにした発言がありました。

そして、鈴木書記長から①戦後民主主義の破壊を許すな！「平和・人権・環境・民主主義」を守るため、軍拡・憲法改悪反対の広範な戦線を構築する取り組み②産業・事業構造の大転換に伴う『変革2027』に立ち向かい、23春闘勝利！「職場と仕事と生活」を守り、「安全と健康」を担保する取り組み③コロナ禍において、3つの重点課題を取り組み「命と生活と自由」を守る取り組み④第8回定期大会まで「組織拡大強化期間」と位置づけ、組織の強化・拡大を勝ち取り、横断的労働組合を創造する取り組みなどについて答弁しました。

「抵抗とヒューマニズム」を基軸に、力を込めてスクラム組んで日本労働運動を切り拓こう！